令和７年度　柏崎刈羽原子力発電所周辺環境放射線監視調査結果　第３四半期（10 月～12 月）正誤表

正	誤	備　考
●２頁 Ⅰ　監視調査結果の概要 **１　空間放射線** (2) 核種分析結果（機器分析）〈詳細は p11 参照〉 浮遊じん、陸水（飲料水）、土壌（陸土）、農産物（米（精米）、大根（根部））、指標生物（松葉）、海水、海底土及び指標生物（ホンダワラ類）の試料について測定を行った。 （文章中の農産物（キャベツ）を削除）	●２頁 Ⅰ　監視調査結果の概要 **１　空間放射線** (2) 核種分析結果（機器分析）〈詳細は p11 参照〉 浮遊じん、陸水（飲料水）、土壌（陸土）、農産物（米（精米）、キャベツ、大根（根部））、指標生物（松葉）、海水、海底土及び指標生物（ホンダワラ類）の試料について測定を行った。	・測定項目から農産物（キャベツ）を削除。
(3) 核種分析結果（ストロンチウム 90 の放射化学分析）〈詳細は p12 及び p 37 事象報告参照〉 陸水（飲料水）、農産物（米（精米）、大根（根部））及び海水の試料について、ストロンチウム 90 の測定を行った。 その結果、陸水（飲料水）、農産物（大根（根部））及び海水から同核種が検出されたが、農産物（大根（根部））を除いては、検出された値は対照期間の測定値の範囲内であった。 農産物（大根（根部））は対照期間（直近）の測定値の範囲を超えたが、検出されたストロンチウム 90 は、過去の核実験等の影響によるものと推定した。 （文章中の農産物（キャベツ）を削除）	(3) 核種分析結果（ストロンチウム 90 の放射化学分析）〈詳細は p12 及び p 37 事象報告参照〉 陸水（飲料水）、農産物（米（精米）、キャベツ、大根（根部））及び海水の試料について、ストロンチウム 90 の測定を行った。 その結果、陸水（飲料水）、農産物（大根（根部））及び海水から同核種が検出されたが、農産物（大根（根部））を除いては、検出された値は対照期間の測定値の範囲内であった。 農産物（大根（根部））は対照期間（直近）の測定値の範囲を超えたが、検出されたストロンチウム 90 は、過去の核実験等の影響によるものと推定した。 なお、農産物（キャベツ）は測定中である。	・測定項目から農産物（キャベツ）を削除。 ・農産物（キャベツ）の測定状況を削除。
●３頁 Ⅲ　監視調査の内容 **１　監視調査項目** (2) 環境試料中の放射能 イ　浮遊じん、陸水（飲料水）、土壌（陸土）、農産物（米（精米）、大根（根部））、指標生物（松葉）、海水、海底土及び指標生物（ホンダワラ類）の核種分析 （文章中の農産物（キャベツ）を削除）	●３頁 Ⅲ　監視調査の内容 **１　監視調査項目** (2) 環境試料中の放射能 イ　浮遊じん、陸水（飲料水）、土壌（陸土）、農産物（米（精米）、キャベツ、大根（根部））、指標生物（松葉）、海水、海底土及び指標生物（ホンダワラ類）の核種分析	・監視調査項目から農産物（キャベツ）を削除。

※修正部は赤字下線とした。

<table>
<tr><th>正</th><th>誤</th><th>備　考</th></tr>
<tr>
<td>●11, 12 頁
Ⅳ　監視調査結果
２　環境試料中の放射能
（2）核種分析結果（機器分析）
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">試　料　名</th><th rowspan="2">単　位</th><th rowspan="2">令和７年度
第３四半期
の測定結果
（測定値の範囲）</th><th rowspan="2">令和７年度
第１，２四半期
の測定結果
（測定値の範囲）</th><th colspan="2">対照期間の測定結果
（当該核種の測定値の範囲）</th></tr><tr><th>〈　直　近　〉
直近５カ年
（R2～R6年度）</th><th>〈　事　前　〉
事前調査期間
（S59. 12まで）</th></tr><tr><td rowspan="2">農産物</td><td>米
（精　米）</td><td rowspan="2">Bq/kg生</td><td>Cs-137
＊～0. 013</td><td></td><td>＊～0. 013</td><td>0. 041～0. 15</td></tr><tr><td>大　根
（根　部）</td><td>Cs-137
＊</td><td></td><td>＊～0. 030</td><td>＊～0. 26</td></tr></table>
（表中の農産物（キャベツ）を削除）

（3）核種分析結果（ストロンチウム 90 の放射化学分析）
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">試　料　名</th><th rowspan="2">単　位</th><th rowspan="2">令和７年度
第３四半期
の測定結果
（測定値の範囲）</th><th rowspan="2">令和７年度
第１，２四半期
の測定結果
（測定値の範囲）</th><th colspan="2">対照期間の測定結果
（当該核種の測定値の範囲）</th></tr><tr><th>〈　直　近　〉
直近５カ年
（R2～R6年度）</th><th>〈　事　前　〉
事前調査期間
（S59. 12まで）</th></tr><tr><td rowspan="2">農産物</td><td>米
（精　米）</td><td rowspan="2">Bq/kg生</td><td>＊</td><td></td><td>＊～0. 023</td><td></td></tr><tr><td>大根
（根　部）</td><td>0. 017</td><td></td><td>＊</td><td></td></tr></table>
（表中の農産物（キャベツ）を削除）</td>
<td>●11, 12 頁
Ⅳ　監視調査結果
２　環境試料中の放射能
（2）核種分析結果（機器分析）
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">試　料　名</th><th rowspan="2">単　位</th><th rowspan="2">令和７年度
第３四半期
の測定結果
（測定値の範囲）</th><th rowspan="2">令和７年度
第１，２四半期
の測定結果
（測定値の範囲）</th><th colspan="2">対照期間の測定結果
（当該核種の測定値の範囲）</th></tr><tr><th>〈　直　近　〉
直近５カ年
（R2～R6年度）</th><th>〈　事　前　〉
事前調査期間
（S59. 12まで）</th></tr><tr><td rowspan="3">農産物</td><td>米
（精　米）</td><td rowspan="3">Bq/kg生</td><td>Cs-137
＊～0. 013</td><td></td><td>＊～0. 013</td><td>0. 041～0. 15</td></tr><tr><td>キャベツ</td><td>Cs-137
＊</td><td></td><td>＊～0. 057</td><td>0. 022～0. 12</td></tr><tr><td>大　根
（根　部）</td><td>Cs-137
＊</td><td></td><td>＊～0. 030</td><td>＊～0. 26</td></tr></table>
（3）核種分析結果（ストロンチウム 90 の放射化学分析）
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">試　料　名</th><th rowspan="2">単　位</th><th rowspan="2">令和７年度
第３四半期
の測定結果
（測定値の範囲）</th><th rowspan="2">令和７年度
第１，２四半期
の測定結果
（測定値の範囲）</th><th colspan="2">対照期間の測定結果
（当該核種の測定値の範囲）</th></tr><tr><th>〈　直　近　〉
直近５カ年
（R2～R6年度）</th><th>〈　事　前　〉
事前調査期間
（S59. 12まで）</th></tr><tr><td rowspan="3">農産物</td><td>米
（精　米）</td><td rowspan="3">Bq/kg生</td><td>＊</td><td></td><td>＊～0. 023</td><td></td></tr><tr><td>キャベツ</td><td>測定中</td><td></td><td>＊～0. 025</td><td></td></tr><tr><td>大根
（根　部）</td><td>0. 017</td><td></td><td>＊</td><td></td></tr></table></td>
<td>・農産物（キャベツ）の核種分析結果を削除。

・農産物（キャベツ）の核種分析結果を削除。</td>
</tr>
</table>

※修正部は赤字下線・赤枠とした。

正	誤	備　考
●28 頁 添付資料 付表４　環境試料の核種分析結果	●28 頁 添付資料 付表４　環境試料の核種分析結果	・農産物（キャベツ）の核種分析結果を削除。

正

試料名		採取地点	採取年月日	単位	人工放射性核種						天然放射性核種		放射化学分析		備考
					Mn-54	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Sr-90	H-3	
農産物	米（精　米）	刈羽村 勝山	7.10.20	Bq/kg生	*	*	*		*	*	*	26	*		品種：コシヒカリBL
		刈羽村 高町	7.10.20		*	*	*		*	0.013	*	18			品種：しんのすけ
	キャベツ	刈羽村 勝山													
		刈羽村 高町													
	大根（根　部）	刈羽村 勝山	7.12. 1		*	*	*		*	*	0.29	48	0.017		品種：新貴堅
		刈羽村 高町	7.12. 4		*	*	*		*	*	0.49	71			品種：耐病総太り

誤

試料名		採取地点	採取年月日	単位	人工放射性核種						天然放射性核種		放射化学分析		備考
					Mn-54	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Sr-90	H-3	
農産物	米（精　米）	刈羽村 勝山	7.10.20	Bq/kg生	*	*	*		*	*	*	26	*		品種：コシヒカリBL
		刈羽村 高町	7.10.20		*	*	*		*	0.013	*	18			品種：しんのすけ
	キャベツ	刈羽村 勝山	8. 1. 8		*	*	*	*	*	*	9.2	110	測定中		品種：やひこ
		刈羽村 高町	8. 1.26		*	*	*	*	*	*	1.2	100			品種：やひこ
	大根（根　部）	刈羽村 勝山	7.12. 1		*	*	*		*	*	0.29	48	0.017		品種：新貴堅
		刈羽村 高町	7.12. 4		*	*	*		*	*	0.49	71			品種：耐病総太り

※修正部は赤枠とした。

令和７年度

柏崎刈羽原子力発電所周辺
環境放射線監視調査結果

第３四半期（10 月～12 月）

令和８年２月

東京電力ホールディングス株式会社

目　　次

Ⅰ　監視調査結果の概要 …… 1

Ⅱ　監視調査の実施機関 …… 3

Ⅲ　監視調査の内容 …… 3
　1　監視調査項目 …… 3
　2　監視調査地点 …… 4
　　(1) 空間放射線調査地点 …… 4
　　(2) 環境試料採取地点 …… 5
　3　測定方法及び測定装置 …… 6
　4　表示単位及び測定値の取扱い方法 …… 7
　　(1) 空間放射線 …… 7
　　(2) 環境試料中の放射能 …… 7

Ⅳ　監視調査結果 …… 8
　1　空間放射線 …… 8
　　(1) 空間放射線量率 …… 8
　　(2) 積算線量 …… 9
　2　環境試料中の放射能 …… 10
　　(1) 浮遊じんの全ベータ放射能 …… 10
　　(2) 核種分析結果(機器分析) …… 11
　　(3) 核種分析結果(ストロンチウム 90 の放射化学分析) …… 12
　　(4) 核種分析結果(トリチウムの放射化学分析) …… 12

Ⅴ　参考 …… 13
　　海水放射能モニタによる測定 …… 13

添付資料 …… 15

事象報告 …… 35

単　位　の　略　字

単　　位	単位の略字
ナノグレイ毎時	nGy/h
ミリグレイ毎 91 日	mGy/91 日
ベクレル毎立方メートル	Bq/m^3
ベクレル毎リットル	Bq/L
ベクレル毎キログラム乾	Bq/kg 乾
ベクレル毎キログラム生	Bq/kg 生

東京電力ホールディングス株式会社は、柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線監視調査を「令和７年度 柏崎刈羽原子力発電所周辺環境放射線監視調査年度計画」に基づき実施しているが、令和７年 10 月から 12 月までの第３四半期における監視調査結果をとりまとめたので報告する。

令和７年度の測定結果は、次表に示す２つの対照期間の測定値の範囲と比較して、３つに区分した。ただし、空間放射線については、事前調査期間は対照期間に含めず、対照期間の測定値との比較にあたっては、計数誤差を考慮せず、〔超える〕又は〔範囲内〕に区分した。

対照期間	・直　近：直近５カ年（令和２～６年度） ・事　前：事前調査期間（調査開始～昭和 59 年 12 月）
区分	・超える：測定結果の計数誤差を加味しても対照期間の測定値の上限値を超える場合 ・同程度：測定結果が対照期間の測定値の上限値を超えるが、計数誤差を加味すると対照期間の測定値の上限値と同程度となる場合 ・範囲内：測定結果が対照期間の測定値の上限値を超えない場合

なお、四半期報告では、自然放射線の季節変動があることを考慮した上で測定結果を判断するために、空間放射線量率、積算線量及び浮遊じんの放射能の測定値を対照期間（直近）の同一四半期の測定値とも比較した。

Ⅰ　監視調査結果の概要

令和７年 10 月から 12 月までの第３四半期に実施した柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線監視調査結果の概要は以下のとおりである。

１　空間放射線

(1) 空間放射線量率〈詳細は p8 参照 〉

９局のモニタリングポストにおける測定結果について、平均値の範囲は 33～41 nGy/h、１時間値の最高値の範囲は 80～94 nGy/h、10 分値の最高値の範囲は 84～102 nGy/h であり、各地点の測定結果は、対照期間の測定値の範囲内であった。

各地点の最高値はすべて降水に伴い出現した。

(2) 積算線量〈詳細は p9 参照〉

18 地点における測定結果について、測定値の範囲は 0.11～0.14 mGy/91日であり、各地点の測定結果は、対照期間の測定値の範囲内であった。

２　環境試料中の放射能

(1) 浮遊じんの全ベータ放射能〈詳細は p10 参照〉

ＭＰ－１、ＭＰ－５及びＭＰ－８の３地点において６時間集じんの測定を行った。

集じん終了直後の測定結果について、平均値は 1.0 Bq/m^3、最高値の範囲は 2.8～3.1 Bq/m^3

であり、各地点の測定結果は、対照期間の測定値の範囲内であった。

また、集じん終了５時間後の測定結果について、平均値は0.022 Bq/m^3、最高値の範囲は0.078～0.083 Bq/m^{3}であり、各地点の測定結果は、対照期間の測定値の範囲内であった。

(2) 核種分析結果（機器分析）〈詳細はp11参照〉

浮遊じん、陸水（飲料水）、土壌（陸土）、農産物（米（精米）、大根（根部））、指標生物（松葉）、海水、海底土及び指標生物（ホンダワラ類）の試料について測定を行った。

その結果、従来から検出されているセシウム137が土壌（陸土）、農産物（米（精米））及び指標生物（松葉）から検出されたが、検出された値は対照期間の測定値の範囲内であった。

(3) 核種分析結果（ストロンチウム90の放射化学分析）〈詳細はp12及びｐ37事象報告参照〉

陸水（飲料水）、農産物（米（精米）、大根（根部））及び海水の試料について、ストロンチウム90の測定を行った。

その結果、陸水（飲料水）、農産物（大根（根部））及び海水から同核種が検出されたが、農産物（大根（根部））を除いては、検出された値は対照期間の測定値の範囲内であった。

農産物（大根（根部））は対照期間（直近）の測定値の範囲を超えたが、検出されたストロンチウム90は、過去の核実験等の影響によるものと推定した。

(4) 核種分析結果（トリチウムの放射化学分析）〈詳細はp12参照〉

陸水（飲料水）及び海水の試料について、トリチウムの測定を行った。

その結果、同核種はいずれも検出下限値未満であった。

Ⅱ　監視調査の実施機関

東京電力ホールディングス株式会社　　柏崎刈羽原子力発電所

Ⅲ　監視調査の内容

1 監視調査項目

(1)　空間放射線

ア　空間放射線量率

イ　積算線量

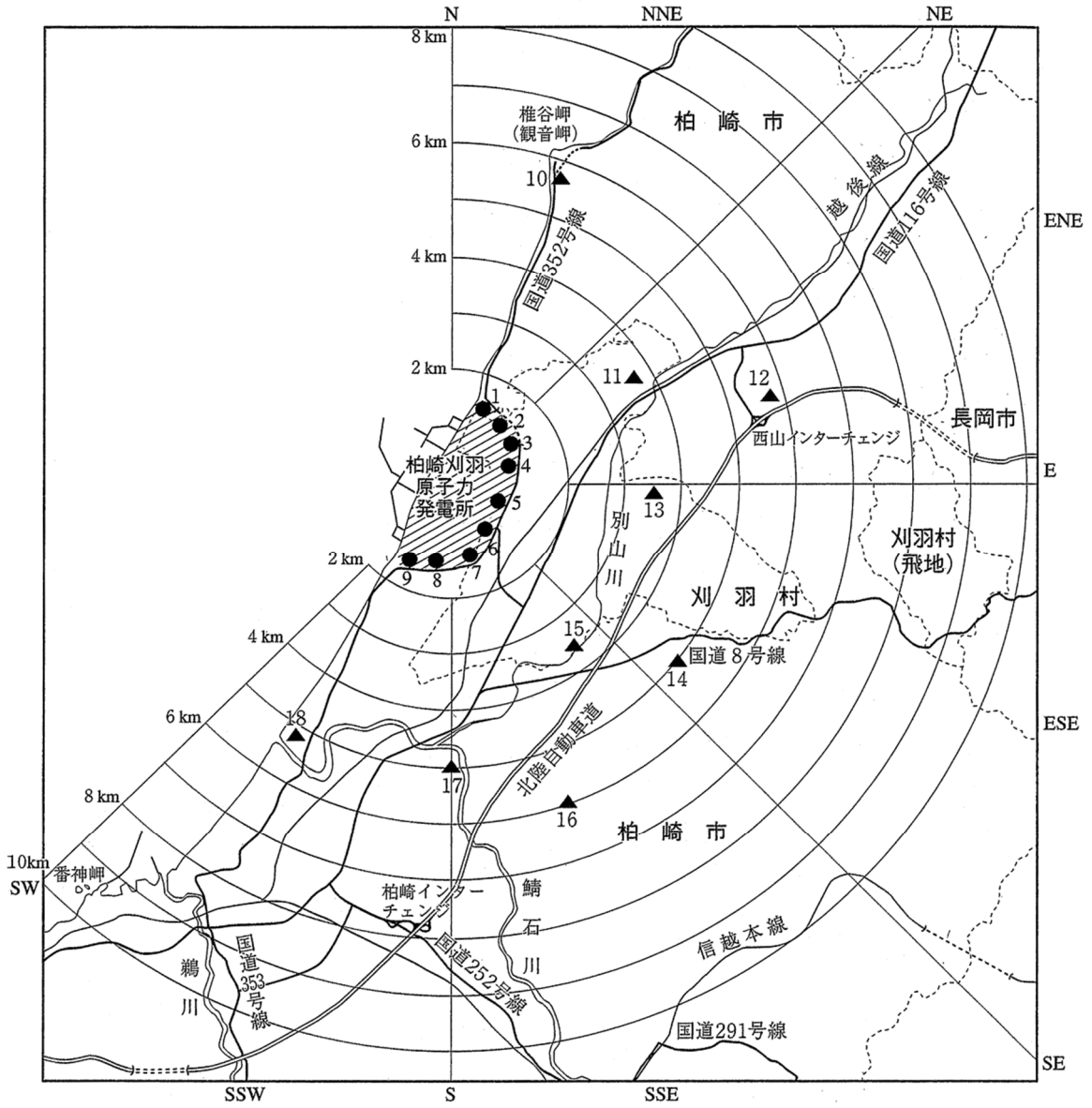
(2)　環境試料中の放射能

ア　浮遊じんの全ベータ放射能

イ　浮遊じん、陸水（飲料水）、土壌（陸土）、農産物（米（精米）、大根（根部））、指標生物（松葉）、海水、海底土及び指標生物（ホンダワラ類）の核種分析

2　監視調査地点

(1) 空間放射線調査地点

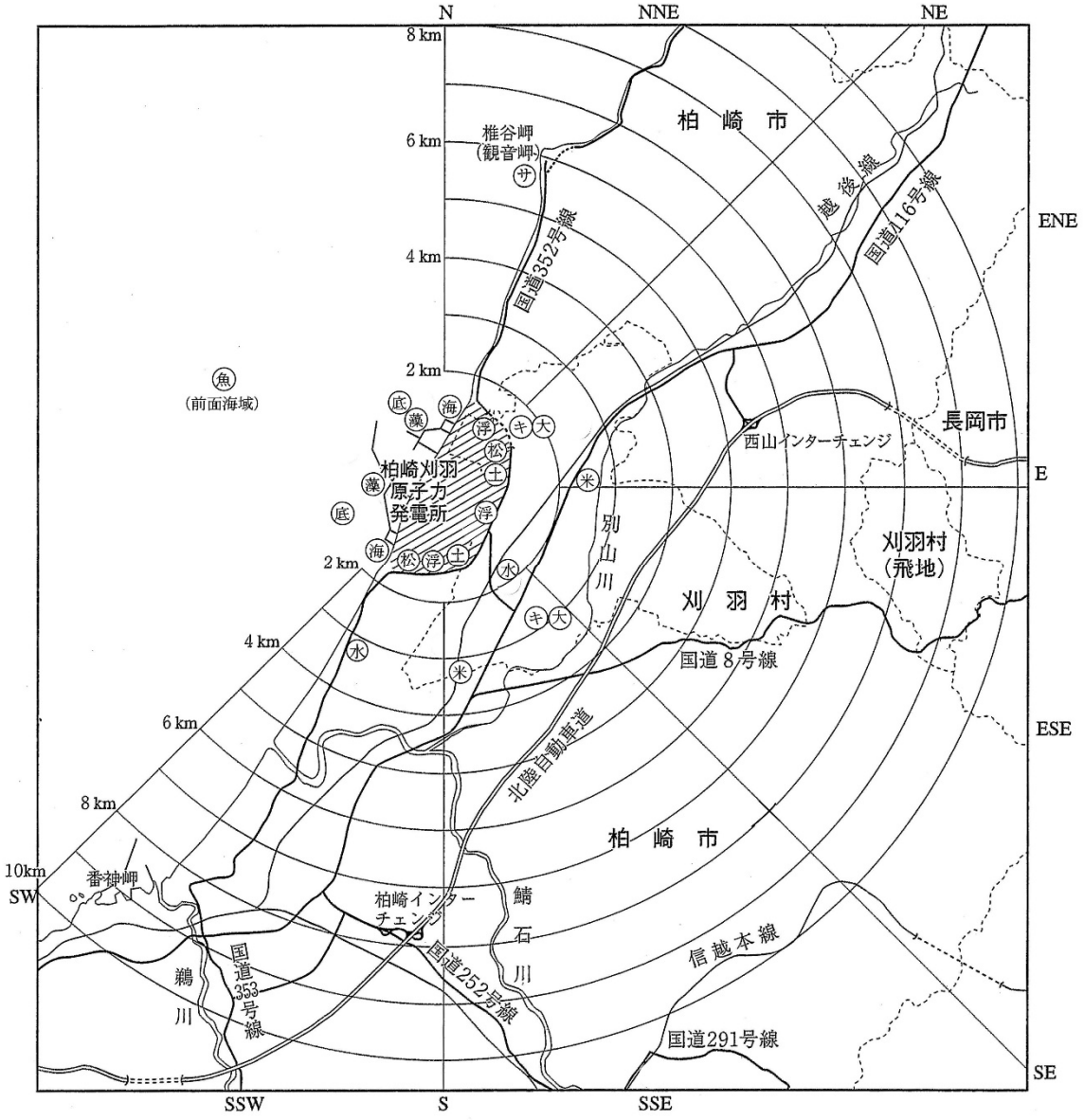


No.	調査地点	方位	距離(km)	No.	調査地点	方位	距離(km)
1	● ＭＰ－１	ＮＮＥ	1.5	10	▲ 柏崎市椎谷	ＮＮＥ	5.3
2	● ＭＰ－２	Ｎ　Ｅ	1.5	11	▲ 刈羽村滝谷	Ｎ　Ｅ	3.4
3	● ＭＰ－３	ＥＮＥ	1.3	12	▲ 柏崎市西山町坂田	ＥＮＥ	5.6
4	● ＭＰ－４	Ｅ	1.1	13	▲ 刈羽村井岡	Ｅ	3.5
5	● ＭＰ－５	ＥＳＥ	0.9	14	▲ 柏崎市曽地	Ｓ　Ｅ	5.0
6	● ＭＰ－６	Ｓ　Ｅ	1.2	15	▲ 刈羽村上高町	Ｓ　Ｅ	3.8
7	● ＭＰ－７	ＳＳＥ	1.4	16	▲ 柏崎市与三	ＳＳＥ	6.0
8	● ＭＰ－８	Ｓ	1.5	17	▲ 柏崎市上原	Ｓ	4.9
9	● ＭＰ－９	ＳＳＷ	1.6	18	▲ 柏崎市松波	ＳＳＷ	5.6

● ：モニタリングポスト及び蛍光ガラス線量計ポスト

▲ ：蛍光ガラス線量計ポスト

(2) 環境試料採取地点



記号	環境試料名	採取地点	記号	環境試料名	採取地点
㊊	浮遊じん	MP-1、MP-5、MP-8	㊍	松葉	発電所北側 発電所南側
㊌	飲料水	刈羽村刈羽 柏崎市荒浜	㊓	海水	放水口（南）付近 放水口（北）付近
㊐	陸土	MP-2付近 MP-8付近	㊎	海底土	放水口（南）付近 放水口（北）付近
㊋	精米	刈羽村勝山 刈羽村高町	㊏	魚類	発電所前面海域
㊍	キャベツ	刈羽村勝山 刈羽村高町	㊐	サザエ	柏崎市椎谷岬 （観音岬）
㊎	大根	刈羽村勝山 刈羽村高町	㊑	ワカメ、 ホンダワラ類	放水口（南）付近 放水口（北）付近

3　測定方法及び測定装置

監視調査項目		測　定　方　法	測　定　装　置
空間放射線	空間放射線量率	原子力規制庁編「連続モニタによる環境γ線測定法」（平成 29 年改訂）に準拠 ・環境放射線監視テレメータシステムでの１時間計測繰り返しによる年間連続測定	・2″φ×2″ＮａＩ（Ｔｌ）シンチレーション検出器
	積算線量	文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」（平成 14 年制定）に準拠 ・３か月積算の繰り返しによる年間連続測定	・蛍光ガラス線量計 素子主成分：銀活性リン酸塩 ・蛍光ガラス線量計リーダ
環境試料中の放射能	全ベータ放射能	原子力規制庁編「大気中放射性物質測定法」（令和４年制定）に準拠 ・環境放射線監視テレメータシステムでの年間連続測定	・空気中放射性塵埃測定装置（浮遊じん） 間欠移動ろ紙式
	核種分析	・機器分析法 原子力規制庁編「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」(令和２年改訂）に準拠 ・トリチウム 原子力規制庁編「トリチウム分析法」(令和５年改訂）に準拠 ・ストロンチウム 90 文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」（平成 15 年改訂）に準拠	・ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメータ 高純度ゲルマニウム半導体検出器 ・低バックグラウンド 液体シンチレーション検出装置 ・低バックグラウンド自動測定装置

4　表示単位及び測定値の取扱い方法

(1) 空間放射線

項　　目	表示単位	測 定 値 の 取 扱 い 方 法
空間放射線量率	nGy/h	表示の数値は、10分値及び１時間値である。表示は整数とし、小数第１位を四捨五入してある。 10分値は、10分間の計測値からの１時間換算値である。 １時間値は、正時から次の正時までの１時間の積算値である。
積 算 線 量	mGy	３か月積算値は91日に、年間積算値は365日に換算してある。表示は小数第２位までとし、小数第３位を四捨五入してある。

(2)　環境試料中の放射能

区分	試　料　名	表示単位	測 定 値 の 取 扱 い 方 法
全ベータ放射能	浮遊じん	Bq/m^3	表示は原則として有効数字２桁とし、３桁目を四捨五入してある。
核種分析	浮遊じん	Bq/m^3	①表示は原則として有効数字２桁とし、３桁目を四捨五入してある。 ②検出下限値は、次のとおりである。 ア 機器分析における検出下限値は、国の方法（※）にならいCooperの方法により、放射線計測時の正味の計数値がその計数誤差（計数に係る不確かさ）の３倍に等しくなるときの放射能濃度とする。 （※）原子力規制庁編「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」（令和２年改訂） イ 放射化学分析法における検出下限値は、放射線計測時の正味の計数値がその計数誤差（計数に係る不確かさ）の３倍に等しくなるときの放射能濃度とする。 ウ 検出下限値未満の測定値は、「＊」で表す。
	陸　　水	Bq/L	
	土　　壌	Bq/kg乾	
	農 産 物	Bq/kg生	
	指標生物（松葉）	Bq/kg生	
	海　　水	Bq/L	
	海 底 土	Bq/kg乾	
	海 産 物	Bq/kg生	
	指標生物（ホンダワラ類）	Bq/kg生	

Ⅳ　監視調査結果

1　空間放射線

(1) 空間放射線量率

（単位：nGy/h）

測定地点	令和７年度第３四半期の測定結果				対照期間の測定結果（測定値の範囲）				
	測定時間（時 間）	平均値	測定値の範囲		＜ 直 近 ＞ 直近５カ年の第３四半期 (R2～R6年度)		＜ 直 近 ＞ 直近５カ年 (R2～R6年度)		＜ 事 前 ＞ 事前調査期間 (S57.4～S59.12)
			１時間値	10分値	１時間値	10分値	１時間値	10分値	
ＭＰ－１	2,204	41	35～ 83	35～ 87	22～102	22～107	15～111	15～118	16～141
ＭＰ－２	2,205	33	27～ 80	26～ 86	17～ 99	17～111	10～100	10～111	6～130
ＭＰ－３	2,158	37	29～ 88	29～ 95	17～105	17～110	10～105	10～116	5～147
ＭＰ－４	2,205	38	30～ 81	30～ 84	17～103	17～108	10～103	9～108	5～146
ＭＰ－５	2,201	40	33～ 86	32～ 91	20～106	19～113	11～114	11～123	5～160
ＭＰ－６	2,166	37	30～ 83	30～ 87	17～117	16～128	10～119	10～133	5～174
ＭＰ－７	2,197	36	29～ 84	29～ 92	16～110	16～121	10～118	10～133	5～151
ＭＰ－８	2,160	36	30～ 86	30～ 92	18～102	18～112	11～115	11～129	5～143
ＭＰ－９	2,168	34	29～ 94	28～102	18～ 99	17～105	12～122	11～135	7～140
全地点	計19,664	37	27～ 94	26～102	16～117	16～128	10～122	9～135	5～174

（注）　平均値及び事前調査期間の測定結果は、１時間値である。

(2) 積算線量

（単位：mGy/91 日）

測定地点		令和７年度第３四半期の測定結果（積算開始：R7. 9.11 積算終了：R7.12.11 積算期間：91日間）	対照期間の測定結果（測定値の範囲）	
			＜ 直 近 ＞ 直近５カ年の第３四半期（R2～R6年度）	＜ 事 前 ＞ 事前調査期間（S57.4～S59.12）
発電所敷地境界付近	ＭＰ－１	0.12	0.12～0.13	0.12～0.16
	ＭＰ－２	0.12	0.12	0.09～0.17
	ＭＰ－３	0.12	0.12～0.13	0.09～0.15
	ＭＰ－４	0.12	0.12	0.08～0.15
	ＭＰ－５	0.13	0.12～0.13	0.09～0.15
	ＭＰ－６	0.12	0.12	0.09～0.15
	ＭＰ－７	0.12	0.12	0.09～0.14
	ＭＰ－８	0.12	0.12	0.10～0.14
	ＭＰ－９	0.11	0.11～0.12	0.10～0.14
	平均値	0.12	—	—
	最高値	0.13	0.13	0.17
	最低値	0.11	0.11	0.08
発電所周辺	柏崎市　椎谷	0.13	0.13～0.14	0.14～0.17
	刈羽村　滝谷	0.13	0.13	0.10～0.16
	柏崎市西山町坂田	0.13	0.13～0.14	0.09～0.16
	刈羽村　井岡	0.12	0.12～0.13	0.09～0.15
	柏崎市　曽地	0.14	0.14	0.09～0.17
	刈羽村　上高町	0.12	0.12～0.13	0.10～0.15
	柏崎市　与三	0.13	0.13	0.10～0.15
	柏崎市　上原	0.13	0.13	0.10～0.16
	柏崎市　松波	0.12	0.12	0.10～0.15
	平均値	0.13	—	—
	最高値	0.14	0.14	0.17
	最低値	0.12	0.12	0.09

（注）　事前調査期間の測定結果は、熱蛍光線量計（TLD）による値である。

2　環境試料中の放射能

(1) 浮遊じんの全ベータ放射能

ア　6時間集じんの測定結果

（ア）　集じん終了直後の測定結果

（単位：Bq/㎥）

測定地点	令和7年度第3四半期の測定結果				対照期間の測定結果（測定値の範囲）	
	集じん回　数（回）	平均空気吸引量（㎥/回）	平均値	測定値の範囲	＜直近＞直近5カ年の第3四半期（R2～R6年度）	＜直近＞直近5カ年（R2～R6年度）
MP－1	349	72.8	1.0	0.16 ～ 2.9	0.034 ～ 3.1	0.023 ～ 4.4
MP－5	351	72.7	0.98	0.14 ～ 2.8	0.041 ～ 2.9	0.041 ～ 4.0
MP－8	350	73.8	1.1	0.14 ～ 3.1	0.030 ～ 3.3	0.030 ～ 4.4
全地点	計1,050	73.1	1.0	0.14 ～ 3.1	0.030 ～ 3.3	0.023 ～ 4.4

（注）1　測定時間は、すべて10分間である。

2　放射能濃度の有効数字は2桁である。

（イ）　集じん終了5時間後の測定結果

（単位：Bq/㎥）

測定地点	令和7年度第3四半期の測定結果				対照期間の測定結果（測定値の範囲）	
	集じん回　数（回）	平均空気吸引量（㎥/回）	平均値	測定値の範囲	＜直近＞直近5カ年の第3四半期（R2～R6年度）	＜直近＞直近5カ年（R2～R6年度）
MP－1	349	72.8	0.022	0.000083～0.082	＊～0.12	＊～0.24
MP－5	351	72.7	0.023	＊～0.078	＊～0.13	＊～0.24
MP－8	350	73.8	0.022	＊～0.083	＊～0.13	＊～0.23
全地点	計1,050	73.1	0.022	＊～0.083	＊～0.13	＊～0.24

（注）1　測定時間は、すべて10分間である。

2　＊は検出下限値未満を示す。

3　放射能濃度の有効数字は2桁である。

(2) 核種分析結果（機器分析）

試料名		単位	令和７年度 第３四半期 の測定結果 （測定値の範囲）	令和７年度 第１，２四半期 の測定結果 （測定値の範囲）	対照期間の測定結果 （当該核種の測定値の範囲）	
					〈 直 近 〉 直近５カ年 （R2～R6年度）	〈 事 前 〉 事前調査期間 （S59.12まで）
浮遊じん		Bq/m^3	Cs-137 ＊	Cs-137 ＊	＊	＊ ～0.00011
陸水	飲料水	Bq/L	Cs-137 ＊	Cs-137 ＊	＊	＊
土壌	陸土	Bq/kg乾	Cs-137 1.6 ～2.4	Cs-137 1.2 ～2.0	＊～2.6	0.85～29
農産物	米 （精米）	Bq/kg生	Cs-137 ＊～0.013		＊～0.013	0.041～0.15
	大根 （根部）		Cs-137 ＊		＊～0.030	＊～0.26
指標生物	松葉	Bq/kg生	Cs-137 ＊～0.032	Cs-137 ＊～0.051	＊～0.18	0.18～6.7
海水		Bq/L	Cs-137 ＊	Cs-137 ＊	＊～0.0032	0.0037
海底土		Bq/kg乾	Cs-137 ＊	Cs-137 ＊	＊	＊
海産物	マダイ	Bq/kg生		Cs-137 0.093	0.097～0.12	0.21～0.24
	ヒラメ			Cs-137 0.10	0.12～0.16	0.24～0.28
	サザエ			Cs-137 ＊	＊	0.093
	ワカメ			Cs-137 ＊	＊	0.078
指標生物	ホンダワラ類	Bq/kg生	Cs-137 ＊	Cs-137 ＊～0.083	＊～0.15	＊～0.16

（注）１　人工放射性核種が検出されない試料については Cs-137 の放射能濃度を記した。

２　＊は検出下限値未満を示す。

３　放射能濃度の有効数字は２桁である。

(3) 核種分析結果（ストロンチウム 90 の放射化学分析）

試料名		単位	令和７年度 第３四半期 の測定結果 (測定値の範囲)	令和７年度 第１，２四半期 の測定結果 (測定値の範囲)	対照期間の測定結果 (当該核種の測定値の範囲)	
					〈 直 近 〉 直近５カ年 (R2～R6年度)	〈 事 前 〉 事前調査期間 (S59.12まで)
陸 水	飲料水	Bq/L	0.0015		0.00096 ～0.0017	
土 壌	陸 土	Bq/kg乾		＊	＊～0.28	
農産物	米 (精 米)	Bq/kg生	＊		＊～0.023	
	大根 (根 部)		0.017		＊	
海 水		Bq/L	0.0011		0.00093 ～0.0014	
海産物	マダイ	Bq/kg生		＊	＊～0.032	
	サザエ			＊	＊	
指標生物	ホンダワラ類	Bq/kg生		0.043	0.032～0.057	

（注） １ ＊は検出下限値未満を示す。

２ 放射能濃度の有効数字は２桁である。

３ Sr-90 は、平成 21 年度より土壌（陸土）、農産物（米（精米）、大根（根部））、海水、海産物（サザエ）及び指標生物（ホンダワラ類）について測定を開始し、海産物（マダイ）については令和元年度より測定を開始した。

(4) 核種分析結果（トリチウムの放射化学分析）

試料名		単位	令和７年度 第３四半期 の測定結果 (測定値の範囲)	令和７年度 第１，２四半期 の測定結果 (測定値の範囲)	対照期間の測定結果 (当該核種の測定値の範囲)	
					〈 直 近 〉 直近５カ年 (R2～R6年度)	〈 事 前 〉 事前調査期間 (S59.12まで)
陸 水	飲料水	Bq/L	＊	＊～0.55[注3]	＊～0.45	1.6 ～ 4.4
海 水		Bq/L	＊	＊	＊～0.45	1.4 ～ 2.9

（注） １ ＊は検出下限値未満を示す。

２ 放射能濃度の有効数字は２桁である。

３ 計数誤差を併記した陸水（飲料水）の H-3 濃度：0.55±0.14 Bq/L

Ⅴ　参　考

海水放射能モニタによる測定

(1)　測定結果

海水放射能モニタの測定値は、降水等に含まれる天然放射性核種の影響を受けて上昇するが、その影響は各放水口に流れ込む降水の量と放流される冷却水量との比率により異なる。

冷却水量は各号機の運転状況により変動するため、各号機で検出されるレベルが異なる。

（単位：cpm）

調査地点		令和７年度第３四半期の測定結果		
		測定時間（時間）	平均値	測定値の範囲（10分値）
放水口（南）	１号機放水口	2,208	464	375～4,849
	２号機放水口	2,208	453	375～4,885
	３号機放水口	2,208	432	349～4,925
	４号機放水口	2,208	465	378～4,588
放水口（北）	５号機放水口	2,208	482	383～3,711
	６号機放水口	2,208	431	359～2,428
	７号機放水口	2,208	433	357～1,918

(2)　調査地点及び測定装置

調査項目	調査地点	測定装置	頻度
海水	放水口（南）（１～４号機） 放水口（北）（５～７号機）	３″φ×３″ＮａＩ（Ｔｌ） シンチレーション検出器	連続

（補足）

海水放射能モニタの単位「ｃｐｍ」とは、海水放射能モニタが１分間に検出した放射線の数（カウント毎分）のことを言う。

添　付　資　料

付表１　空間放射線量率の月別測定結果 …… 17

付表２　積算線量の測定結果 …… 23

付表３　浮遊じんの月別全ベータ放射能測定結果 …… 24

付表４　環境試料の核種分析結果 …… 26

付表５　海水放射能モニタの月別測定結果 …… 31

付表１　空間放射線量率の月別測定結果

（単位：nGy/h）

測定地点	年　月	平均値	最高値	最低値	平均値＋３σ	平均値＋３σを超えた回数	
						降雨雪	その他
ＭＰ－１	7．4	38	64（ 66）	35（ 35）	47	17	1
	5	38	66（ 67）	35（ 35）	47	18	0
	6	39	57（ 59）	35（ 35）	48	16	1
	7	41	53（ 54）	38（ 37）	47	1	0
	8	42	90（ 99）	37（ 36）	60	14	0
	9	39	67（ 69）	36（ 35）	51	25	0
	10	40	83（ 84）	36（ 35）	58	16	0
	11	40	83（ 87）	35（ 35）	64	25	1
	12	42	80（ 83）	36（ 35）	66	19	0
ＭＰ－２	7．4	32	58（ 61）	29（ 29）	41	22	1
	5	32	63（ 64）	29（ 29）	41	21	0
	6	32	51（ 55）	29（ 28）	41	20	1
	7	33	48（ 49）	31（ 30）	36	10	1
	8	34	86（ 95）	30（ 30）	52	18	1
	9	32	60（ 63）	29（ 29）	44	25	0
	10	33	75（ 76）	29（ 28）	51	19	0
	11	33	80（ 86）	28（ 27）	57	26	1
	12	34	69（ 73）	27（ 26）	55	27	0
ＭＰ－３	7．4	34	60（ 62）	31（ 31）	43	23	1
	5	34	68（ 69）	32（ 31）	43	20	0
	6	35	54（ 57）	32（ 31）	44	18	1
	7	35	49（ 50）	33（ 33）	38	10	1
	8	37	85（ 96）	33（ 32）	55	15	0
	9	35	65（ 69）	32（ 32）	47	27	1
	10	36	79（ 81）	32（ 32）	54	18	0
	11	37	88（ 95）	31（ 31）	61	25	1
	12	38	72（ 77）	29（ 29）	62	16	0

（注）１　σは、標準偏差を示す。

２　（　）内の数値は10分値である。

３　平均値＋３σを超えた回数のうち、ＭＰ－１、２、３の令和７年４月、６月、11月のその他１回、ＭＰ－２、３の７月のその他１回、ＭＰ－２の８月のその他１回、ＭＰ－３の９月のその他１回については、直前の降水によるものである。

（単位：nGy/h）

測定地点	年　月	平均値	最高値	最低値	平均値＋３σ	平均値＋３σを超えた回数	
						降雨雪	その他
ＭＰ－４	7．4	35	58（ 60）	33（ 32）	44	14	1
	5	35	66（ 67）	33（ 32）	44	20	0
	6	36	54（ 56）	33（ 32）	45	18	1
	7	36	49（ 50）	34（ 34）	39	10	1
	8	38	82（ 95）	34（ 33）	53	20	0
	9	36	64（ 67）	34（ 33）	48	20	0
	10	37	76（ 76）	33（ 32）	55	16	0
	11	38	81（ 84）	31（ 31）	59	22	1
	12	38	75（ 81）	30（ 30）	59	15	0
ＭＰ－５	7．4	38	62（ 64）	36（ 35）	47	13	1
	5	38	71（ 72）	36（ 35）	47	20	0
	6	38	58（ 60）	36（ 35）	47	19	1
	7	39	52（ 53）	37（ 36）	42	9	0
	8	40	88（105）	36（ 36）	58	14	0
	9	39	67（ 71）	36（ 36）	51	17	0
	10	40	80（ 81）	36（ 35）	58	18	0
	11	40	86（ 89）	35（ 34）	64	24	1
	12	41	84（ 91）	33（ 32）	62	20	0
ＭＰ－６	7．4	36	61（ 63）	33（ 33）	45	17	1
	5	36	69（ 71）	33（ 33）	45	17	0
	6	36	56（ 59）	33（ 33）	45	19	1
	7	37	50（ 51）	35（ 34）	40	9	0
	8	38	75（ 87）	34（ 33）	56	15	0
	9	36	66（ 68）	33（ 33）	48	24	0
	10	37	78（ 80）	33（ 32）	55	19	0
	11	37	83（ 87）	31（ 31）	61	24	1
	12	38	80（ 86）	30（ 30）	59	21	0

（注）１　σは、標準偏差を示す。

２　（　）内の数値は10分値である。

３　平均値＋３σを超えた回数のうち、ＭＰ－４、５、６の令和７年４月、６月、11月のその他１回、ＭＰ－４の７月のその他１回については、直前の降水によるものである。

（単位：nGy/h）

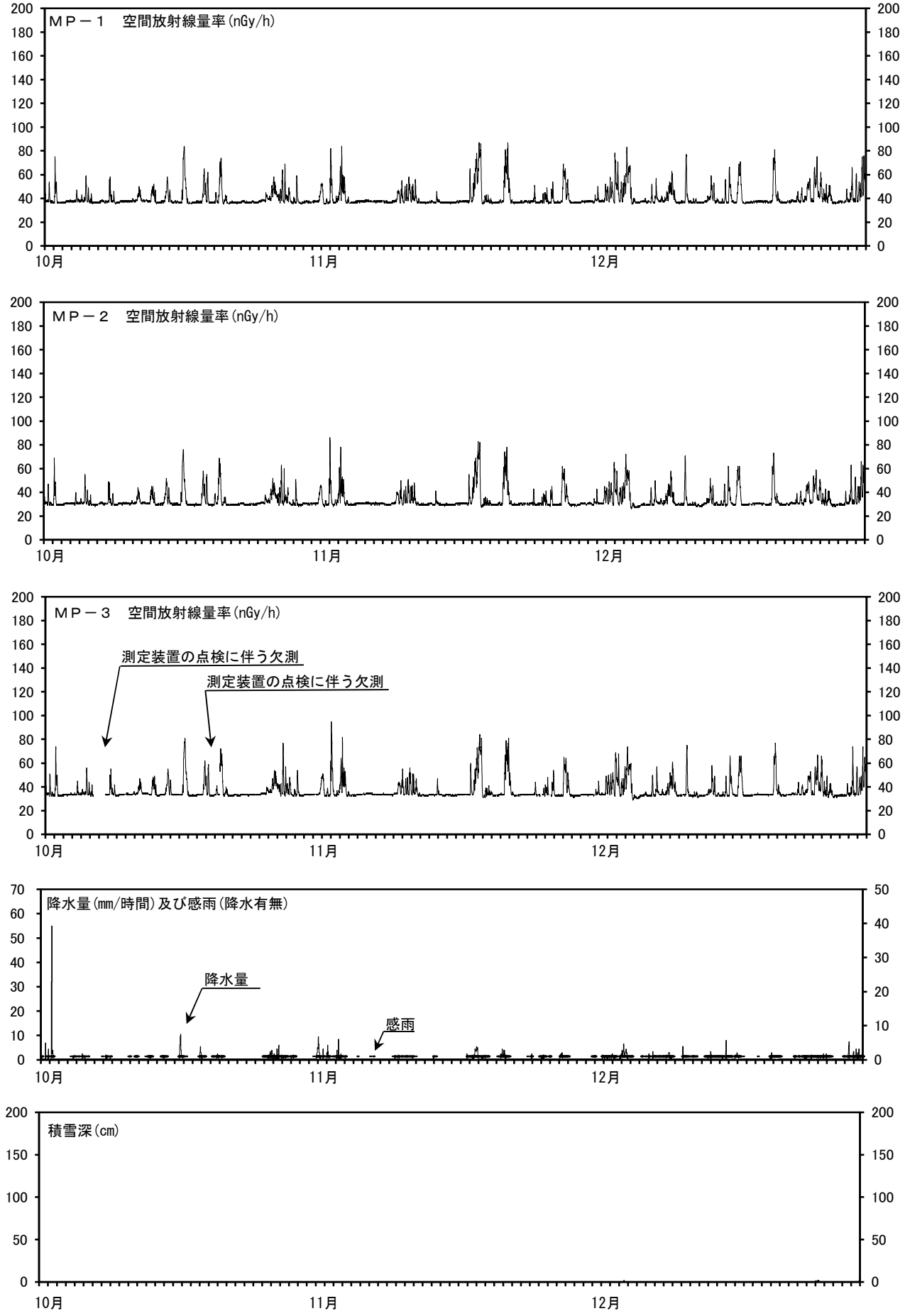
測定地点	年　月	平均値	最高値	最低値	平均値＋３σ	平均値＋３σを超えた回数	
						降雨雪	その他
ＭＰ－７	7．4	34	57（ 60）	31（ 30）	43	13	1
	5	33	64（ 65）	31（ 31）	42	18	0
	6	34	54（ 56）	31（ 31）	43	18	1
	7	35	48（ 49）	33（ 33）	38	9	0
	8	36	72（ 74）	33（ 32）	51	22	1
	9	35	63（ 65）	32（ 31）	47	19	0
	10	36	78（ 81）	32（ 31）	54	16	0
	11	36	84（ 92）	31（ 30）	60	24	1
	12	37	73（ 79）	29（ 29）	58	15	0
ＭＰ－８	7．4	34	57（ 59）	31（ 31）	43	12	1
	5	34	62（ 64）	31（ 31）	43	15	0
	6	34	53（ 55）	31（ 31）	43	18	1
	7	35	47（ 48）	32（ 32）	38	7	0
	8	36	71（ 72）	32（ 32）	51	19	0
	9	35	61（ 63）	32（ 31）	47	17	0
	10	35	86（ 92）	31（ 31）	53	17	0
	11	35	76（ 87）	31（ 30）	56	20	1
	12	36	71（ 76）	30（ 30）	57	16	0
ＭＰ－９	7．4	32	58（ 60）	29（ 29）	41	17	1
	5	32	60（ 61）	29（ 28）	41	16	0
	6	32	53（ 55）	29（ 29）	41	18	1
	7	33	46（ 47）	30（ 30）	36	9	0
	8	34	70（ 76）	30（ 29）	52	19	0
	9	32	61（ 65）	29（ 29）	44	23	0
	10	33	94（102）	29（ 29）	51	16	0
	11	34	78（ 92）	29（ 29）	58	24	1
	12	35	73（ 79）	29（ 28）	59	7	0

（注）１　σは、標準偏差を示す。

２　（　）内の数値は10分値である。

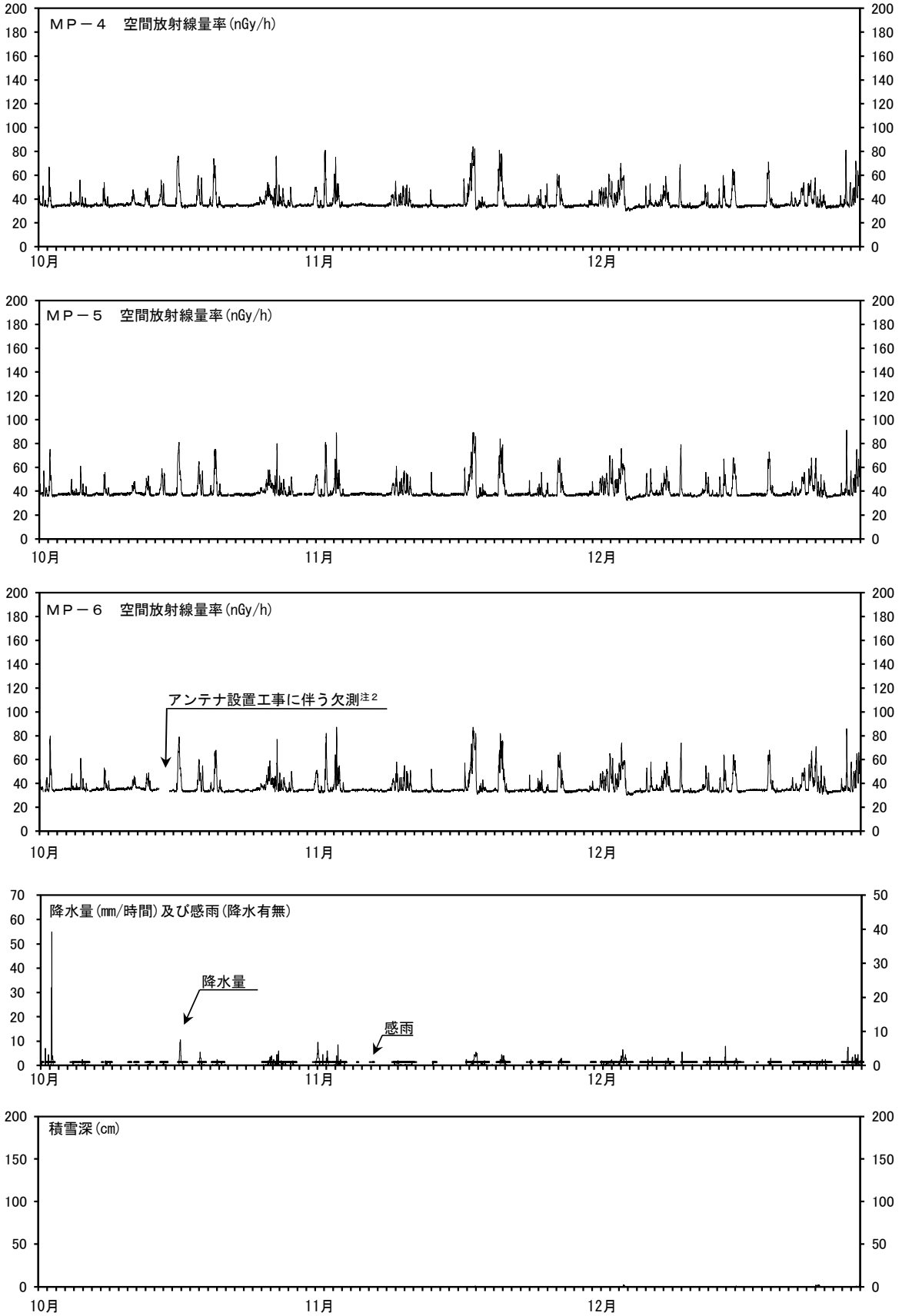
３　平均値＋３σを超えた回数のうち、ＭＰ－７、８、９の令和７年４月、６月、11月のその他１回、ＭＰ－７の８月のその他１回については、直前の降水によるものである。

図１　ＭＰ－１～３の空間放射線量率と降水量及び積雪深との関係
（測定期間：令和7年10月1日～令和7年12月31日）



（注）　気象観測地点：柏崎刈羽原子力発電所 気象観測所

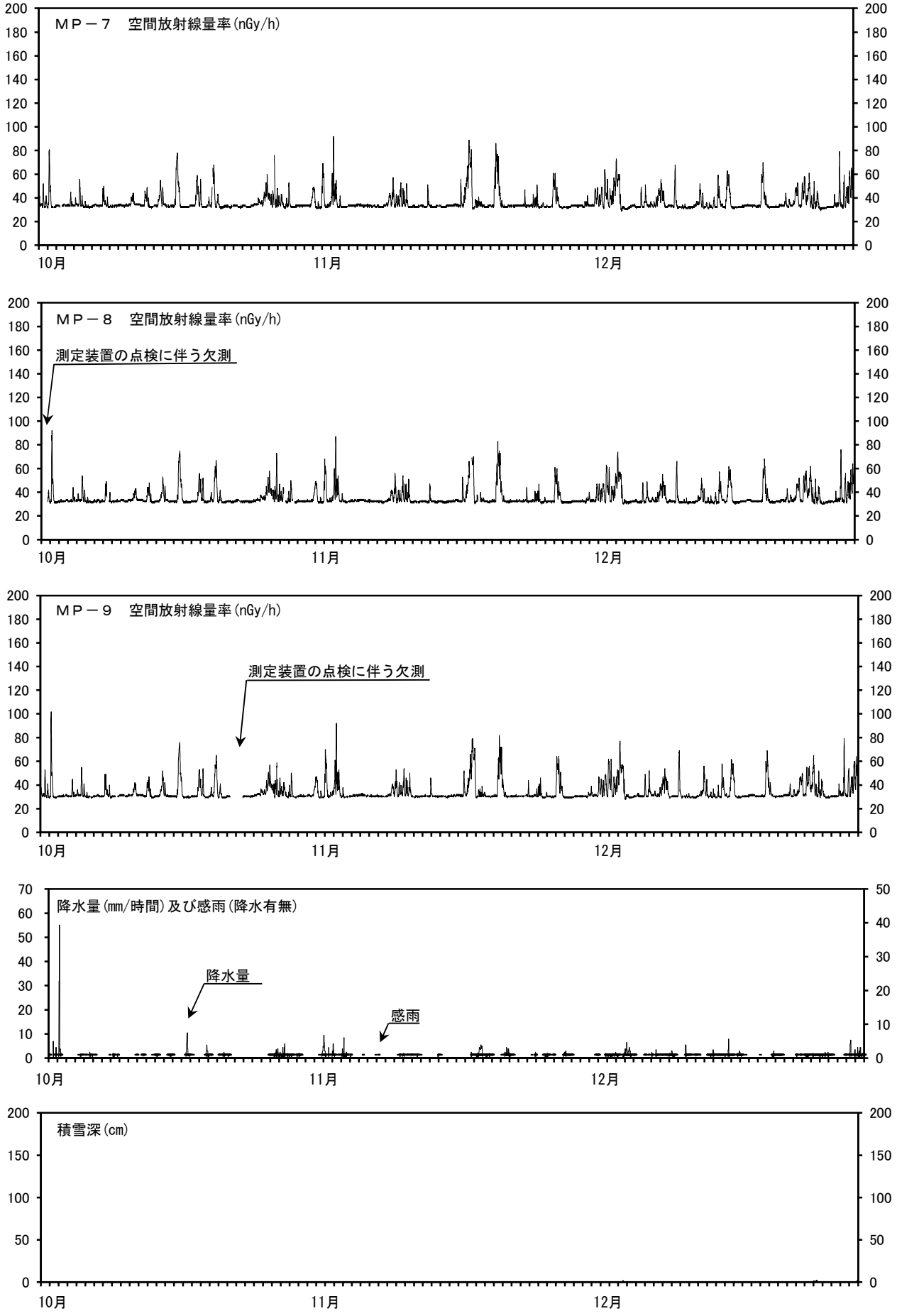
図２ ＭＰ－４～６の空間放射線量率と降水量及び積雪深との関係
（測定期間：令和7年10月1日～令和7年12月31日）



（注）１　気象観測地点：柏崎刈羽原子力発電所 気象観測所

２　モニタリングポスト近傍における電気工具の使用によりノイズ（電磁波等）の影響で測定値が変動す可能性があったため、モニタリングポストを停止した。停止期間中は可搬型モニタリングポストによる代替測定を実施し、その結果、測定値の有意な変動はなかった。

図３　ＭＰ－７～９の空間放射線量率と降水量及び積雪深との関係
（測定期間：令和7年10月1日～令和7年12月31日）



（注）　気象観測地点：柏崎刈羽原子力発電所 気象観測所

付表２　積算線量の測定結果

No.	測定地点	３か月積算線量（mGy/91日）				年間積算線量（mGy/365日）
		第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	
1	ＭＰ－１	0.12　(0.12)	0.13　(0.13)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
2	ＭＰ－２	0.11　(0.11)	0.11　(0.11)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
3	ＭＰ－３	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
4	ＭＰ－４	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
5	ＭＰ－５	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	0.13　(0.13)	(　　)	(　　)
6	ＭＰ－６	0.11　(0.11)	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
7	ＭＰ－７	0.11　(0.11)	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
8	ＭＰ－８	0.11　(0.11)	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
9	ＭＰ－９	0.11　(0.11)	0.11　(0.11)	0.11　(0.11)	(　　)	(　　)
10	柏崎市　椎谷	0.13　(0.13)	0.13　(0.13)	0.13　(0.13)	(　　)	(　　)
11	刈羽村　滝谷	0.12　(0.12)	0.13　(0.13)	0.13　(0.13)	(　　)	(　　)
12	柏崎市西山町坂田	0.13　(0.13)	0.13　(0.13)	0.13　(0.13)	(　　)	(　　)
13	刈羽村　井岡	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
14	柏崎市　曽地	0.13　(0.13)	0.14　(0.14)	0.14　(0.14)	(　　)	(　　)
15	刈羽村　上高町	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
16	柏崎市　与三	0.12　(0.12)	0.14　(0.14)	0.13　(0.13)	(　　)	(　　)
17	柏崎市　上原	0.12　(0.12)	0.13　(0.13)	0.13　(0.13)	(　　)	(　　)
18	柏崎市　松波	0.11　(0.11)	0.12　(0.12)	0.12　(0.12)	(　　)	(　　)
積算開始年月日 積算終了年月日 積　算　期　間		7. 3.13 7. 6.12 91日間	7. 6.12 7. 9.11 91日間	7. 9.11 7.12.11 91日間		

（注）１　３か月積算線量の（　）内の数値は、実測値であり、３か月積算線量は、小数第３位まで求めた実測値の 91 日換算値である。

２　年間積算線量の（　）内の数値は、小数第３位まで求めた各四半期の実測値の和であり、年間積算線量は、その 365 日換算値である。

付表３　浮遊じんの月別全ベータ放射能測定結果

ア　６時間集じんの測定結果

（ア）　集じん終了直後の測定結果

（単位：Bq/m^3）

測定地点	年　月	集じん回　数（回）	平均空気吸引量（m^3/回）	平均値	最高値	最低値
ＭＰ－１	7. 4	120	71.7	0.82	2.3	0.12
	5	124	71.7	1.0	2.4	0.25
	6	118	71.8	1.3	3.1	0.20
	7	119	71.5	1.5	3.8	0.17
	8	124	71.8	1.4	3.8	0.27
	9	120	72.1	1.1	2.9	0.20
	10	120	72.6	1.1	2.9	0.30
	11	110	73.0	1.0	2.3	0.20
	12	119	72.8	0.85	2.2	0.16
ＭＰ－５	7. 4	120	72.4	0.78	2.2	0.12
	5	124	72.4	0.94	2.5	0.25
	6	119	71.9	1.2	2.9	0.18
	7	115	72.4	1.4	3.5	0.31
	8	124	72.5	1.3	4.0	0.26
	9	120	72.6	1.0	2.9	0.13
	10	110	72.9	1.1	2.8	0.27
	11	120	72.9	1.1	2.7	0.16
	12	121	72.3	0.82	2.3	0.14
ＭＰ－８	7. 4	120	74.2	0.80	2.5	0.13
	5	124	74.2	0.98	2.9	0.24
	6	119	73.9	1.4	3.2	0.20
	7	115	73.8	1.6	4.0	0.31
	8	124	74.2	1.4	4.0	0.25
	9	120	74.3	1.1	3.3	0.15
	10	120	74.3	1.2	3.1	0.26
	11	110	73.5	1.2	3.1	0.17
	12	120	73.6	0.88	2.3	0.14

（注）１　測定時間は、すべて 10 分間である。

２　放射能濃度の有効数字は２桁である。

（イ） 集じん終了５時間後の測定結果

（単位：Bq/m^3）

測定地点	年　月	集じん回　数（回）	平均空気吸引量（m^3/回）	平均値	最高値	最低値
ＭＰ－１	7. 4	120	71.7	0.021	0.10	＊
	5	124	71.7	0.029	0.088	＊
	6	118	71.8	0.034	0.13	0.00067
	7	119	71.5	0.060	0.20	0.0037
	8	124	71.8	0.046	0.17	0.0026
	9	120	72.1	0.030	0.11	＊
	10	120	72.6	0.030	0.082	0.000083
	11	110	73.0	0.022	0.076	0.00042
	12	119	72.8	0.014	0.044	0.0020
ＭＰ－５	7. 4	120	72.4	0.024	0.076	＊
	5	124	72.4	0.032	0.11	0.0012
	6	119	71.9	0.037	0.14	＊
	7	115	72.4	0.062	0.23	0.0037
	8	124	72.5	0.052	0.19	0.0025
	9	120	72.6	0.034	0.18	0.00075
	10	110	72.9	0.034	0.078	0.00017
	11	120	72.9	0.025	0.078	＊
	12	121	72.3	0.013	0.055	＊
ＭＰ－８	7. 4	120	74.2	0.020	0.073	0.00055
	5	124	74.2	0.029	0.11	＊
	6	119	73.9	0.034	0.13	0.00090
	7	115	73.8	0.060	0.22	0.0037
	8	124	74.2	0.048	0.19	0.0017
	9	120	74.3	0.031	0.15	＊
	10	120	74.3	0.031	0.083	0.00056
	11	110	73.5	0.024	0.075	＊
	12	120	73.6	0.012	0.048	＊

（注）１　測定時間は、すべて 10 分間である。

２　＊は検出下限値未満を示す。

３　放射能濃度の有効数字は２桁である。

付表４　環境試料の核種分析結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	人工放射性核種						天然放射性核種		放射化学分析		備考
				Mn-54	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Sr-90	H-3	
浮遊じん	ＭＰ－１	7. 4.30	Bq/m^3	＊	＊	＊		＊	＊	0.0029				
		5.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0035				
		6.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0030				
		7.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0025				
		8.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0020				
		9.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0025				
		10.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0039				
		11.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0037				
		12.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0028				
	ＭＰ－５	7. 4.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0029				
		5.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0033				
		6.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0030				
		7.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0025				
		8.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0019				
		9.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0022				
		10.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0034				
		11.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0034				
		12.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0026				

（注）１　Be-7、K-40 は「参考値」である。

２　放射能濃度の有効数字は２桁である。

３　＊は検出下限値未満を示す。

試料名		採取地点	採取年月日	単位	人工放射性核種						天然放射性核種		放射化学分析		備考
					Mn-54	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Sr-90	H-3	
浮遊じん		ＭＰ－８	7. 4.30	Bq/m^3	＊	＊	＊		＊	＊	0.0029				
			5.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0033				
			6.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0028				
			7.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0023				
			8.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0019				
			9.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0023				
			10.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0037				
			11.30		＊	＊	＊		＊	＊	0.0035				
			12.31		＊	＊	＊		＊	＊	0.0027				
陸水	飲料水	刈羽村 刈羽	7. 4.11	Bq/L	＊	＊	＊		＊	＊	＊	0.035		＊	pH：7.24
			7. 8		＊	＊	＊		＊	＊	＊	0.037		＊	pH：6.21
			10.17		＊	＊	＊		＊	＊	＊	0.046	0.0015	＊	pH：7.08
		柏崎市 荒浜	7. 4.11		＊	＊	＊		＊	＊	＊	0.037		0.55	pH：7.25
			7. 8		＊	＊	＊		＊	＊	＊	0.043		＊	pH：6.45
			10.14		＊	＊	＊		＊	＊	＊	0.046		＊	pH：6.89
土壌	陸土（0～5cm）	ＭＰ－２付近	7. 5.16	Bq/kg乾	＊	＊	＊		＊	2.0	6.2	370	＊		地目：裸地、性状：砂質、色：褐色
			11. 6		＊	＊	＊		＊	2.4	9.9	370			地目：裸地、性状：砂質、色：褐色
		ＭＰ－８付近	7. 5.16		＊	＊	＊		＊	1.2	8.4	450			地目：裸地、性状：砂質、色：褐色
			11. 6		＊	＊	＊		＊	1.6	7.1	420			地目：裸地、性状：砂質、色：褐色

（注）１　Be-7、K-40は「参考値」である。

２　放射能濃度の有効数字は２桁である。

３　＊は検出下限値未満を示す。

試料名		採取地点	採取年月日	単位	人工放射性核種						天然放射性核種		放射化学分析		備考
					Mn-54	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Sr-90	H-3	
農産物	米（精　米）	刈羽村 勝山	7.10.20	Bq/kg生	＊	＊	＊		＊	＊	＊	26	＊		品種:コシヒカリBL
		刈羽村 高町	7.10.20		＊	＊	＊		＊	0.013	＊	18			品種:しんのすけ
	キャベツ	刈羽村 勝山													
		刈羽村 高町													
	大根（根　部）	刈羽村 勝山	7.12. 1		＊	＊	＊		＊	＊	0.29	48	0.017		品種:新貴聖
		刈羽村 高町	7.12. 4		＊	＊	＊		＊	＊	0.49	71			品種:耐病総太り
指標生物	松葉（２年葉）	発電所 北側	7. 5.15	Bq/kg生	＊	＊	＊		＊	＊	53	77			品種:クロマツ
			8.14		＊	＊	＊		＊	＊	36	63			品種:クロマツ
			11. 7		＊	＊	＊		＊	＊	56	71			品種:クロマツ
		発電所 南側	7. 5.15		＊	＊	＊		＊	0.039	48	76			品種:クロマツ
			8.14		＊	＊	＊		＊	0.051	35	60			品種:クロマツ
			11. 7		＊	＊	＊		＊	0.032	57	63			品種:クロマツ

（注）１　Be-7、K-40は「参考値」である。

２　放射能濃度の有効数字は２桁である。

３　＊は検出下限値未満を示す。

試料名		採取地点	採取年月日	単位	人工放射性核種						天然放射性核種		放射化学分析		備考
					Mn-54	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Sr-90	H-3	
海水（表層水）		放水口（南）付近	7. 5. 8	Bq/L	＊	＊	＊		＊	＊	＊			＊	pH:7.83、塩分量:31.0
			7. 3		＊	＊	＊		＊	＊	＊			＊	pH:7.86、塩分量:32.0
			10.15		＊	＊	＊		＊	＊	＊		0.0011	＊	pH:8.21、塩分量:31.0
		放水口（北）付近	7. 5. 8		＊	＊	＊		＊	＊	＊			＊	pH:7.85、塩分量:31.0
			7. 3		＊	＊	＊		＊	＊	＊			＊	pH:7.99、塩分量:31.4
			10. 9		＊	＊	＊		＊	＊	＊			＊	pH:7.96、塩分量:32.0
海底土（表層土）		放水口（南）付近	7. 5.19	Bq/kg乾	＊	＊	＊		＊	＊	＊	330			水深:約11.8m、試料の状況:砂質
			10. 2		＊	＊	＊		＊	＊	＊	460			水深:11.9m、試料の状況:砂質
		放水口（北）付近	7. 5.19		＊	＊	＊		＊	＊	16	450			水深:約9.4m、試料の状況:砂質
			10. 2		＊	＊	＊		＊	＊	＊	510			水深:9.2m、試料の状況:砂質
海産物	マダイ	発電所前面海域	7. 5.12	Bq/kg生	＊	＊	＊		＊	0.093	＊	140	＊		発電所沖合:約4km
	ヒラメ	発電所前面海域	7. 5.12		＊	＊	＊		＊	0.10	＊	130			発電所沖合:約4km
	サザエ	柏崎市椎谷岬（観音岬）	7. 7.29		＊	＊	＊		＊	＊	3.0	68	＊		
	ワカメ	放水口（南）付近	7. 5.19		＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	170			
		放水口（北）付近	7. 5.19		＊	＊	＊	＊	＊	＊	0.41	220			

（注）1　Be-7、K-40は「参考値」である。

2　放射能濃度の有効数字は２桁である。

3　＊は検出下限値未満を示す。

試料名		採取地点	採取年月日	単位	人工放射性核種						天然放射性核種		放射化学分析		備考
					Mn-54	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Sr-90	H-3	
指標生物	ホンダワラ類(葉　茎)	放水口(南)付近	7. 5.19	Bq/kg生	＊	＊	＊	＊	＊	＊	3.5	350	0.043		品種:イソモク
			9. 9		＊	＊	＊	＊	＊	＊	3.2	380			品種:ヨレモク
			11.27		＊	＊	＊	＊	＊	＊	13	300			品種:ヨレモク・イソモク
		放水口(北)付近	7. 5.19		＊	＊	＊	＊	＊	＊	5.7	330			品種:イソモク
			9. 9		＊	＊	＊	＊	＊	0.083	5.5	330			品種:ヨレモク
			11.27		＊	＊	＊	＊	＊	＊	7.9	340			品種:ヨレモク

(注) 1　Be-7、K-40は「参考値」である。

2　放射能濃度の有効数字は２桁である。

3　＊は検出下限値未満を示す。

付表５　海水放射能モニタの月別測定結果

（単位：cpm）

調査地点	年　月	測定時間（時間）	平均値	最低値（10分値）	最高値（10分値）
放水口(南)1号機放水口	7. 4	720	446	389	1,055
	5	744	440	398	855
	6	720	425	393	524
	7	726	419	389	453
	8	744	417	387	1,642
	9	720	418	385	1,069
	10	744	440	382	4,849
	11	720	461	375	1,916
	12	744	491	388	4,137
放水口(南)2号機放水口	7. 4	720	474	421	1,334
	5	744	451	416	830
	6	720	433	400	542
	7	726	416	384	448
	8	744	416	381	1,811
	9	720	421	385	1,506
	10	744	434	381	4,885
	11	720	453	375	1,778
	12	744	473	384	3,313
放水口(南)3号機放水口	7. 4	720	431	379	1,220
	5	744	416	380	635
	6	720	404	372	474
	7	730	397	369	428
	8	742	394	357	1,597
	9	720	393	359	1,586
	10	744	409	362	4,925
	11	720	430	349	1,644
	12	744	455	368	3,335

（単位：cpm）

調査地点	年　月	測定時間（時間）	平均値	最低値（10分値）	最高値（10分値）
放水口(南) 4号機放水口	7. 4	720	456	400	1,293
	5	744	443	410	857
	6	720	431	399	508
	7	730	425	396	512
	8	742	428	391	1,764
	9	720	432	392	1,682
	10	744	446	391	4,588
	11	720	463	378	1,837
	12	744	487	388	4,487
放水口(北) 5号機放水口	7. 4	720	465	397	2,301
	5	744	457	404	1,454
	6	720	440	402	834
	7	743	423	395	603
	8	734	448	389	4,871
	9	720	436	390	1,315
	10	744	462	389	2,861
	11	720	484	383	3,711
	12	744	500	393	2,569
放水口(北) 6号機放水口	7. 4	720	415	366	2,011
	5	744	415	367	823
	6	720	406	371	649
	7	743	393	366	432
	8	734	413	354	2,559
	9	720	400	364	1,058
	10	744	416	359	1,988
	11	720	428	359	2,428
	12	744	450	366	1,740

（単位：cpm）

調査地点	年　月	測定時間 （時間）	平 均 値	最 低 値 （10分値）	最 高 値 （10分値）
放水口（北） 7 号機放水口	7．4	720	423	367	1,152
	5	744	419	378	833
	6	720	405	371	581
	7	743	391	364	457
	8	734	406	362	2,324
	9	720	401	364	937
	10	744	414	362	1,918
	11	720	430	357	1,702
	12	744	456	367	1,914

事　象　報　告

事象報告　令和７年度第３四半期の大根の核種分析結果（ストロンチウム 90）について …… 37

事象報告　令和７年度第３四半期の大根の核種分析結果（ストロンチウム 90）について

令和７年 12 月に採取した大根から人工放射性核種のストロンチウム 90 が検出され、対照期間（直近）の測定値の範囲を超えたため、以下のとおり調査を行った。

１　測定状況

令和７年 12 月に採取した大根の核種分析結果（ストロンチウム 90）を表１に示す。また、平成 21 年度以降のストロンチウム 90 濃度の推移を図１に示す。

表１　大根の核種分析結果（ストロンチウム 90）

（単位：Bq/kg 生）

採取地点	採取年月日	測定結果	対照期間の測定結果（当該核種の測定値の範囲）	
			＜直近＞ 直近５カ年 (R2～R6 年度)	＜事前＞ 事前調査期間 (S59.12 まで)
刈羽村勝山	令和７年 12 月１日	0.017（±0.004）※1	＊	

（注）１　＊は検出下限値未満を示す。
　　２　超過した測定結果は網掛けとした。
　　３　大根については平成 21 年度よりストロンチウム 90 の測定を開始した。
※１　（ ）内は計数誤差を示す。

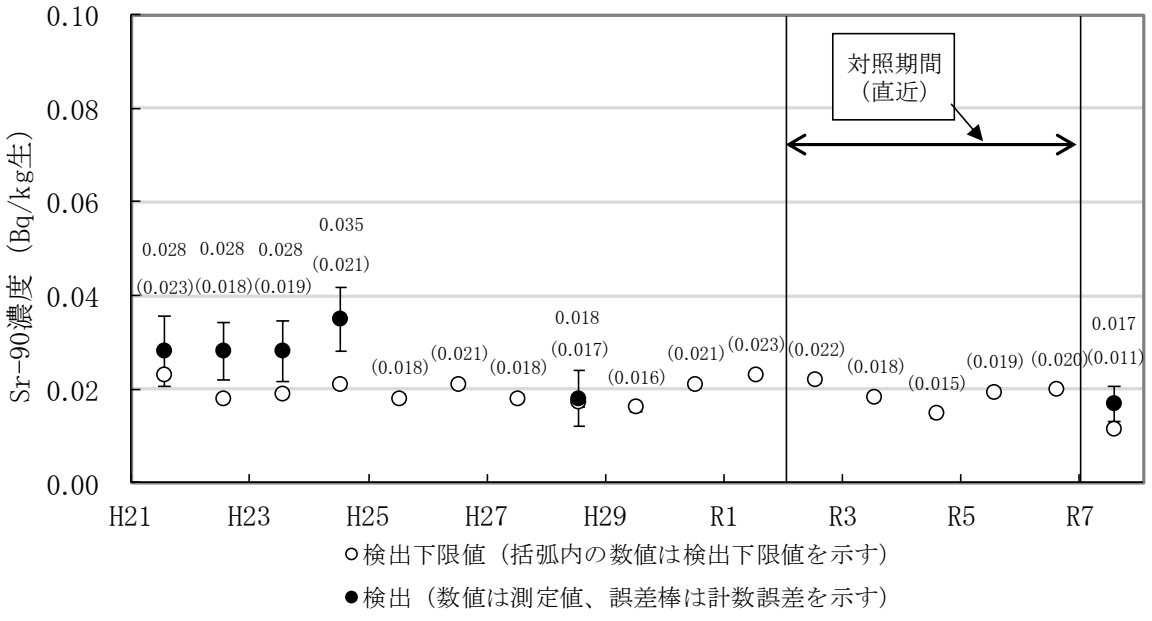


図１　大根のストロンチウム 90 濃度（採取地点：刈羽村勝山）の推移

２　調査結果

当発電所による影響の有無について、調査した結果を以下に示す。

(1) 当発電所の状況

令和７年度第２四半期～第３四半期（※）において、当発電所の放射性気体廃棄物から人工放射性核種（トリチウムを除く）は検出されなかった。

※ 採取した大根の栽培期間：９月～12 月

(2) 測定の状況

試料の採取、前処理、測定は、文部科学省の各マニュアル（※）に準拠し、適切に行われたことを確認している。また、試料の前処理の状況等から他試料からのストロンチウム 90 の汚染の可能性はないこと、並びに試料の測定前後におけるバックグラウンド値から測定装置に汚染がないことを確認している。

※「環境試料採取法（昭和 58 年)」、「放射性ストロンチウム分析法（平成 15 年改訂)」

(3) その他

ア．大根のストロンチウム 90 は平成 21 年度から測定を開始しているが、過去にも検出されたことがある。

イ．同一地点における大根の核種分析（機器分析）を行った結果、人工放射性核種は検出されなかった。

ウ．令和 7 年度は、東通原子力建設所にて核種分析（ストロンチウム 90 の放射化学分析）を実施しており、柏崎刈羽原子力発電所と測定条件（供試量など）が異なることから、検出下限値が従来よりも低くなっているため、ストロンチウム 90 が検出されやすくなっている。

３　推定原因

調査結果より、今回検出されたストロンチウム 90 は当発電所の放射性気体廃棄物から人工放射性核種（トリチウムを除く）が検出されていないこと等から、当発電所からの影響によるものではなく、過去に行われた核実験等の影響によるものと推定した。

以　上